



レストハウス、オープン延期

旭山記念公園レストハウスは4月25日土曜日オープン予定でしたが、新型コロナウイルスにかかわる動向により延期、時期未定となりました。情報はホームページなどでその都度ご案内させていただきます、ご了承ください。

おうちでバードウォッチング

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自宅で過ごす時間が長くなった方もおられるのではないかと思います。そこで今月はこんな企画。

街中や住宅街でこの季節に比較的好く見られる野鳥の話です。

☆市街地・住宅街

ハシブトガラス(=ブト)、ハシボソガラス(=ボソ)、

本来、ブトは山、ボソは平野に生息。札幌市内でも山に近い地域はブトが圧倒的に多く、平野ではボソの割合が増える。旭山はブトがほとんどでボソは数羽しかいないですが、大通公園まで行くとだいぶボソが増えます。

ムクドリ…平野に多く、大通公園に数百羽が集まる榊の木がありますが、旭山ではなぜかめったに見られません。

ヒヨドリ…街の鳥代表。元々森の鳥、1960年代に街に進出し定着。世界で日本周辺にしかない鳥。

スズメ(写真1枚目)…人のいるところにスズメあり。旭山では道路沿いで見られますが山側にはいません。

ハクセキレイ(写真2枚目)…尻尾を振って速足で歩く姿が街中でも見られ、すっかり街の鳥になりました。

カワラヒワ(裏面参照)

アカゲラ…住宅街の公園にも現れ、大通公園でも西側で比較的好く見られます。

シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ

山の近くや大きな公園とその周りにいます。シジュウカラは日本全国で普通。ゴジュウカラは本州以南では山に行かないと見られない珍しい鳥。ハシブトガラは日本では北海道にのみ生息しています。ヤマガラも山の近くによくいます。

キジバト…別名「山鳩」、市街地でもよく見られます。

オオセグロカモメ(写真3枚目)…20年ほど前から札幌市街地に定着。ビルの屋上で繁殖。

トビ…平野に多く、札幌中心部付近にも時々現れ、旭山にもたまに來ます。

ハヤブサ(写真4枚目)…近年札幌都心部でも見られる機会が多くなってきました。山や海岸の岩崖に営巣します。

山に近い住宅街では、アオジ、ウグイス、キビタキ、オオルリ、コゲラ、ハイタカなども来ることがあります。

◆ハトは?…街中のハト、ドバトとも言われますが、正式名は「カワラバト」。これは野鳥とは認められておらず、ペットが逃げ出して野生化したものと同じです。



自然は決して「一期一会」ではない

自然との出会いは「一期一会」とよく言われます。

確かに、写真撮影ではそう。あの日あの時の朝の光が最高だった、珍しい鳥が近くで見られた、1日しか咲かない花が見られたなど、小さな視点で見れば、そういう面もあるでしょう。

でも、あえていいます、自然は「一期一会」ではないと。

今年も昨年と同じ頃に同じ花が咲き、同じ鳥が南から渡って来ています。

その風景は、来年もきっと見られるでしょう。今年だけのものではありません。

新型コロナ外出自粛で今年は見られなかった花も、来年はきっと見られます。

いや、来年はもっと感動的な自然の光景に出会えるでしょう。



旭山野鳥メモ ⑭カワラヒワ

カワラヒワ Oriental Greenfinch *Chloris sinica* スズメ目アトリ科
北海道で一部越冬、旭山では基本夏鳥だが冬に見られることもある。

雄(右写真)は全身濃い緑褐色、雌は薄く緑がかかった茶褐色。

尾羽の先がM字型に切れ込む。翼の真ん中辺りが黄色く透けて見える。そして飛びながら「キリコロキリ」とほがらかに鳴く、といった特徴により、飛んでいる時に分かりやすい鳥。

雄は木のてっぺんで「ギューーン」と囀るが、正直、人間の耳には、あまりきれいな音ではない。むしろ「キリコロキリ」という声の方がきれい。

都心部の公園など身近にいる鳥だが、一般への知名度が低く、鳥好きの間でもあまり話題に上らない。

名前のごとく河原が本来のすみかだが、海岸草原、農耕地から高山の草原まで広く分布。森林にはいないが、開けた場所に接した林縁ならいる。旭山でも展望台から森の家周辺にはいるが、森のエリアにはいない。

それにしてもどうしてカワラヒワは人気がないのだろうか。むしろ分かりやすい鳥だと思うのだが、ひとつ考えられるのは、控えめなことか。カラ類のように人の周りで活発なわけではなく、色合いも落ち着いた(地味)。身近な存在でもあるし、声がとってもきれいでかわいらしい。もっと注目されていい鳥。



5月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください、森の家までおたずねください。

◎夏鳥到来日 先月号で予想した今年の夏鳥到来日の結果(太字)です。

- ・キセキレイ 4/8→4/7 ・アオジ 4/12→4/18 ・ウグイス 4/13→4/7
- ・メジロ 4/20→4/21・クロツグミ 4/22→4/24 ・ヤブサメ 4/22→4/26
- ・センダイムシクイ 4/30→5/1 ※アオジとウグイスが大きくずれました。

●夏鳥到来情報5月5日まで(カッコ内は昨年の初認日)

- ・ツツドリ 5/1(5/8)・オオルリ 4/28(5/1)・コルリ 5/1(5/2)・キビタキ 5/4(5/5)

★トラツグミ=今年は4/9 初認、鳴き声も聞かれており、旭山周辺にいます。

★ルリビタキ=今年も4月下旬に多く見られ、ゴールデンウィーク中まで残っていました。 ↑アオジ雄

★キクイタダキ=4/22に20羽以上が同時に見られ、その後も5月に入るまで園内を歩くと数か所で1~3羽が見られるという状態が続いていました。このような動きは旭山では初めて観察されました。

★クマゲラ=4月はしばしば来ていましたがそろそろあまり見られなくなります。

★ホオジロ=展望台周辺で今年も囀りがよく聞かれ、つがいで行動する姿もよく見られています。

★シマエナガ=見られる頻度が低くなってきました。6月に巣立ち幼鳥が見られるといいのですが。



令和2年の旭山の桜

新型コロナウイルス感染症対策のため、旭山記念公園は2020年5月2日から、駐車場閉鎖となりました。その頃はちょうど桜の季節。今年は旭山の桜を見に来られなかったという方もいらっしゃるかと思います。今年も、旭山記念公園の桜の写真を集めてみました。左から5月3日、4日、6日、8日撮影です。来年は、桜を見る人で賑わう、いつも通りの旭山の春を迎えられたらと思います。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第79号 2020(令和2)年5月8日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyaama/>